

工場事務所は、出入り分離していた伝票を1カ所に集約し、工場内でも落ち着き事務処理ができるように、通常の現場では使用されない色として、デスク・イス、配線やエアコンなどリフレッシュして整備。手洗い場を新設した。

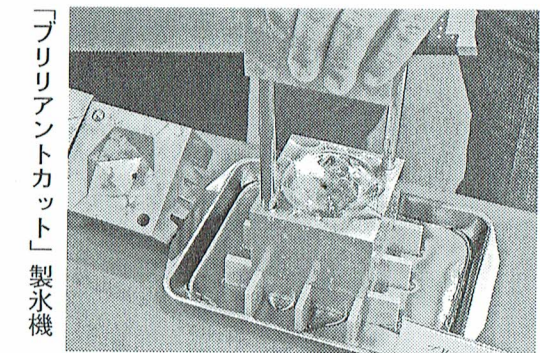
「汚れて当たり前前の観念を汚さない意識に変えていきたい」とし、「『有る物を使う』のではなく『要る物を買う』の意識に立ち、投資額の大小ではなく、こまめな環境変化を通じて社員の働き方から生産性まで大きく変えていく。働く本人の気持ちや意志が向上することで働き方改革に自然につながっていくと思う」と話している。

PRし、製造・加工業を盛り上げたい考えだ。ものづくり共同愛知は金属加工関連に加え、樹脂製品製造、住宅リフォーム業など異なる業種10社がタッグを組み、17年に設立された。各社企業間の取引が主体である中で、生活を彩り、役に立つような製品開発を行い、一般消費者向けの販路拡大を目指している。

異形棒鋼を使用したコイルチェアなど、設立以来各社の技術を用いた商品開発を推進。このほど開かれた「メッセナゴヤ」にブースを出展し、新商品をアピールした。展示したのは鉄筋を曲げて製作した「アイアンテーブル」、ベリウム銅で型を起こしたブリリアントカットの製氷機（参考出展）

「ものづくり共同愛知」 一般ユーザー向け 製品開発を強化 鉄筋使用のテーブルなど

中野ハガネ（本社・名古屋市中川区、社長・松下浩司氏）などが参画する「ものづくり共同愛知合同会社」は、一般ユーザー向け製品の販売強化を図る。各社の技術を融合し、製作した独自商品に新たなラインアップを追加。拡販を図るとともにものづくりの魅力を



「ブリリアントカット」製氷機など。代表を務める田中裕士氏は「今後も独自商品の開発、市場投入を通じて、ものづくりの楽しさを広く発信していきたい」とビジョンを語った。

名古屋ベンド製作所（本社・名古屋市中北区、社長・田中裕士氏）、

中部地区の特殊鋼3団体「ビジネスパートナー」研修会を開く

「ビジネスパートナー」研修会を開く。これは今年度初めて実施する研修会で、営業を担当する中堅社員および新任管理職を対象としたもの。

ソンの研修会を開催、地区流通から約30人が参加した。これは今年度初めて実施する研修会で、営業を担当する中堅社員および新任管理職を対象としたもの。席上挨拶した深津和也（愛知製鋼執行）



屋根への熱伝導を下げられた孔が、温められた空気を逃がす効果もあり、夏季の熱中症対策、空調効率が改善できる。トータルコストを低減できる。「冷える」が有する特長と、近年の猛暑が追い風となり、施工実績を押し上げた。



30人が受講。含みで推移している。非鉄金属工業の生産

「メッセナゴヤでは冷える」

「冷える」が有する特長と、近年の猛暑が追い風となり、施工実績を押し上げた。

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

メッセナゴヤでは冷える

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

中部経、同7・3%減と同

形鋼・鋼板類は39万9

が前年同月より、少な

含みで推移している。

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長

接捗する深津支部長